

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

272-780

事務事業名	図書館維持管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	図書館			1	10	5	5	10	1	49,204
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				包含する細々目	1	10	5	5	10	4	18,000
施策	28 学習交流活動の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了 年度とする	
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	生涯学習の拠点施設として、市民が快適に利用できるよう遂行する。	107844	107000		
		成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
		管理上不具合件数	18目標	最終目標	0	
			18実績	7	19目標	5
			23目標	4	23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	生涯学習の拠点施設・社会教育施設のひとつである、全市の図書館の維持管理を行う。	適正な契約・的確な支払い業務で、快適なサービス環境を整える。	事業費	45941
	18年度の実績			
	19年度計画	適正な契約・的確な支払い業務で、快適なサービス環境を整える。	事業費	49204

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		5,000
	起債		
	その他	1,058	1,058
	一般財源	44,883	43,146
	事業費計(A)	45,941	49,204
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	45,941	49,204

特定財源内訳や補足事項	複写料・駐車場代・伊賀良学習交流センター太陽光発電
-------------	---------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様で主体的な学習交流の機会が増え、人と人の交流の輪が広がる。	学習活動を行っている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>市民の文化的・潤いある生活を維持するための欠かせない教育施設である図書館は図書館法で地方自治体が設置する責務がある。</p> <p>大正4年町立飯田図書館となり、昭和12年市立飯田図書館としてその活動を開始。以後数度の合併により、各地区に分館を設置。</p> <p>昭和56年7月現在建物に改築され、平成5年の上郷との合併を機に、飯田市立中央図書館・飯田市立郷図書館・飯田市立上郷図書館と改称し、各地区分館の施設と合わせて維持管理を行う。</p>	<p>財政事情もあり、限られたなかで最大のサービス環境の維持に努めている。</p>	<p>各種サービスの拡大を求める声があるが、現在の限られた施設では限界がある。利用者や議会へは理解をいただくように努める。</p>

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 生涯学習の拠点施設の維持管理は欠かせない。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 施設の改修等で利用環境が整備されることにより、学习交流の輪が広がる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 市民の生活に役立つ情報入手・憩いの場・心豊かな生活・ふるさと意識の醸成に大きな影響を与える。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由) 図書館法で市の責務である。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 図書館法第17条で無料の原則が謳われている。

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>施設利用における館内整備。緊急性のある箇所から修繕対応を行う。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	